

別記

第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事	平成30年 7月 30日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府綾部市城山町7番1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 三ツ星ベルト技研株式会社 綾部生産システム開発センター 代表取締役 羽村 健

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001(2015年版)
適用範囲	綾部工場
導入年月日	2002年 1月19日
認証番号	2602096
基本方針	三ツ星ベルトグループは、ゴム・プラスチック等の製品群のメーカーとして、環境への多大ななかわりをもっていることを認識し、全ての事業活動において環境との調和をめざした製品技術・生産技術などの開発により技術領域を広げていくとともに、「人を思い、地球を思う」の基本理念のもとに地球規模の視野に立った環境活動を行い、社会に貢献する企業づくりを推進する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> 電力原単位を2017年度実績3,610KWH/t以下 蒸気原単位を2017年度実績12,258t/t以下 ゼロエミッションの継続維持(埋立廃棄物排出量/廃棄物総排出量=1%未満)
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> リブライン用ブラインチラーINVタイプへの更新 実験棟空調設備の更新(9台) 屋内照明のLED化(200台)
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> リブライン用ブラインチラーINVタイプへの更新実施 実験棟空調設備の更新実施(9台) 屋内照明のLED化へ更新実施(200台)
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	計画通りに取り組む事ができた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について半年に1回確認を行っている。これまでに違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境方針、規定、要領の大きな見直しは必要ない。廃棄物については、ゼロエミッションが維持継続できた。2018年度も引き続き継続が必要であり、引き続きリサイクルの推進、再資源化転用の検討を進めて、産廃処理費用のコスト削減を図ること。昨年に引き続き、新工法の確立および設備の改善をより一層進め、MTNカイゼン運動、QC活動などの改善活動により、層、不良を低減し、生産性向上によるエネルギー使用量削減に努めること。また、施設課を中心に改善活動（蒸気漏れ対策、LED化など）に努め、センター全体の環境パフォーマンス向上を図っていく必要がある。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。